



ちゅうりっぷ通信

2020年 7月 第2号

新型コロナウイルス感染症対策での登園自粛期間が終わり、1か月が経とうとしています。登園再開直後は、多くの子が保護者の方と離れることに不安を見せていました。毎日少しずつ涙を見せる時間が減り、笑顔で入室できる日も増えてきています。子ども達が楽しみに登園できるように、保護者の皆様に安心して預けてもらえるように努めていきたいと思います。

これから暑くなる日が多くなるかと思います。涼しい場所でのこまめな休憩や水分補給など熱中症対策を心がけながら、夏ならではのあそびをたくさん経験できるようにしていきたいです。

みんなであ・い・う！



みんな大好き「おおきなかぶ」の絵本。何度も読み聞かせをしているうちに「うんとこしょ！ どっこいしょ！」と一緒にセリフを言ってくれるようになりました。どの子も言葉にすることをとても楽しんでいるようです。

朝のお集まりで1～10までの数を数えたり、50音を音読することを始めました。(6/30現在：力行まで)「お兄さん、お姉さんたちも毎日やっているんだよ！」と話すと、やる気満々！一人ひとりが大きな口を開けて「1・2・3！」「あ・い・う！」と声に出しています。とても上手に言えるようになってきました。「もう一回！」と初めてのお勉強の時間をリクエストする子もいるんですよ！



何を作ろうかな？！



ブロックあそびが大好きな子ども達。ペロペロキャンディーやメガネ、掃除機、聴診器、電話（スマホ）などを作っています！

火災報知機の点検がやってきたときのこと。「お兄さん、何をするの？」と興味津々で静かに見ていた子ども達。点検する器具が天井高くまで届くようにと棒が伸びると、子ども達も真剣に見上げていました。数日後、長く繋げたブロックを持ち、一生懸命天井に向かって手を伸ばしている子が。何をしているのかと不思議に思っていたのですが「点検の真似をしているのでは？！！」と気付き、聞いてみるとその通り！「点検は大丈夫でしたか？」と尋ねると嬉しそうに「うん！」と、いい笑顔を見せてくれました。

見立てあそびが盛んになってきています。大人の色々な姿を見て真似をしているんだなと感じさせられます。可愛らしい子ども達の姿とは裏腹に、ドキッとすることも…（笑）気を付けていきたいですね！



子ども同士の関わりも増え、特定の友だちを探して遊び始めたり、「一緒に座ろう」と誘ったりする姿も見られるようになってきています。保育士が仲立ちを行いながら「一緒に遊ぶことが楽しい！」と思えるような環境づくりをしていきたいです。

お願い

- * 友達同士の関わりが増えてきました。関わりの際に、爪が伸びていたりギザギザの爪だと、自分の爪で怪我をしたり、相手のお友だちに怪我させてしまう恐れがあります。定期的に爪の確認を行って下さい。
- * 持ち物全てに名前の記入があるか確認をして下さい。
- * 汚れた衣類を持ち帰りましたら、必ず次の日に補充をお願いします。